

記入例 離婚後、子を養育している母から父に対して子の養育費の支払の調停を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	家事 <input checked="" type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判	申立書 事件名	子の監護に関する処分 <input checked="" type="checkbox"/> 養育費請求 <input type="checkbox"/> 養育費増額請求 <input type="checkbox"/> 養育費減額請求
収入印紙 円	(この欄に子1人につき収入印紙1,200円分を貼ってください。)		
予納郵便切手 円	印紙		
	(貼った印紙に押印しないでください。)		

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

○ ○ 家庭裁判所 御中 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	丙山 春子	印
-----------------------------------	-----------------------------	-------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 子の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 申立人の収入に関する資料(源泉徴収票、給与明細、確定申告書、非課税証明書の各写し等) <input type="checkbox"/>	準口頭
------	---	-----

申立人	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇アパート〇号室 (方)	
	フリガナ氏名	丙山 春子	昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生 (〇〇 歳)
相手方	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (方)	
	フリガナ氏名	丁野 太郎	昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生 (〇〇 歳)
対象となる子	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生 (〇 歳)
	フリガナ氏名	丙山 一郎	(〇 歳)
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生 (〇 歳)
	フリガナ氏名	丙山 彩花	(〇 歳)
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生 (〇 歳)
	フリガナ氏名		(〇 歳)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。

養育費を請求する対象となる子について記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分には、該当するものにチェックしてください。

相手方に支払ってほしい金額を記入してください。金額がはっきりしないときは「相当額」を選択してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
(<input checked="" type="checkbox"/> 相手方 / <input type="checkbox"/> 申立人) は、(<input checked="" type="checkbox"/> 申立人 / <input type="checkbox"/> 相手方) に対し、子の養育費として、次のとおり支払うとの (<input checked="" type="checkbox"/> 調停 / <input type="checkbox"/> 審判) を求めます。	
※ ①	1人当たり毎月 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 相当額) を支払う。
2	1人当たり毎月金_____円に増額して支払う。
3	1人当たり毎月金_____円に減額して支払う。

夫婦が初めて同居をした日を記入してください。

申 立 て の 理 由	
同居・別居の時期	
同居を始めた日…昭和 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 令和	別居をした日…昭和 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 令和
養育費の取決めについて	
1 当事者間の養育費に関する取決めの有無 <input type="checkbox"/> あり (取り決めた年月日：平成・令和____年____月____日) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
2 1で「あり」の場合	
(1) 取決めの種類 <input type="checkbox"/> 口頭 <input type="checkbox"/> 念書 <input type="checkbox"/> 公正証書 <input type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/> 判決 →	{ _____家庭裁判所_____ (□支部/□出張所) 平成・令和_____年(家____)第_____号 }
(2) 取決めの内容 (□相手方/□申立人) は、(□申立人/□相手方) に対し、平成・令和____年____月から____まで、子1人当たり毎月_____円を支払う。	
養育費の支払状況	
<input type="checkbox"/> 現在、1人当たり1か月_____円が支払われている (支払っている)。	
<input type="checkbox"/> 平成・令和____年____月まで1人当たり1か月_____円が支払われて (支払って) いたが、その後 (□_____円に減額された (減額した)。/□ 支払がない (支払っていない))。	
<input type="checkbox"/> 支払はあるが一定しない。	
<input checked="" type="checkbox"/> これまで支払はない。	
養育費の増額又は減額を必要とする事情 (増額・減額の場合のみ記載してください。)	
<input type="checkbox"/> 申立人の収入が減少した。 <input type="checkbox"/> 相手方の収入が増加した。	
<input type="checkbox"/> 申立人が仕事を失った。	
<input type="checkbox"/> 再婚や新たに子ができたことにより申立人の扶養家族に変動があった。	
<input type="checkbox"/> 申立人自身・子にかかる費用 (□学費 □医療費 □その他) が増加した。	
<input type="checkbox"/> 子が相手方の再婚相手等と養子縁組した。	
<input type="checkbox"/> その他 (_____)	

同居と別居を繰り返しているときは、一番最後の別居の日を記入してください。